

せせらぎ通信

2017. 9. 29 発行

先日、秋の大会で野球部が神奈川県で公立唯一のベスト8に入ったのは記憶に新しいところです。
今回のせせらぎ通信では、今は引退した3年生の様子を中心に、磯子高校の部活動の一部の様子をご紹介します。

陸上部

夏にインターハイへ出場した福島将太くん（3年）にインタビューをしました。

Q 円盤投げを始めた理由は何ですか。

A 腕相撲が強いからです（笑）。

Q インターハイ会場の様子はいかがでしたか。

A みんなオーラがあって、貴重な体験ができました。

Q インターハイ以前に何か特別な練習はありましたか？

A 2年生の時ですが、2月頃、関東地域の各県ベスト3選手が集まる強化合宿がありました。そこで日本記録保持者の方に直接指導を受けることができ、とても貴重な経験ができました。その合宿で一緒だった高校生たちも日本のトップレベルの人たちだったので、非常に刺激を受けました。

Q インターハイ出場となると、普段の練習からとても厳しそうなイメージを持ちますが、部活の雰囲気はどのような感じなのですか。

A 男女関係なく協力し合えるので、とても練習しやすかったです。

Q 練習の中で特に気をつけていることはありますか。

A（身体をつくる）ウエイトトレーニングよりも、円盤投げそのものの技術を磨くことを意識していました。

インタビュアー（3-8 阿部・荒井）



2017年度 陸上部

主要大会結果！

（県大会以上の入賞者）

・県高校総体（5月13,14,20,21日）

【男子円盤投】

2位 福島将太 42m32

・関東高校総体 南関東地区予選会

【男子円盤投】（6月16～19日）

3位 福島将太 43m91

・全国高校総体（インターハイ）

【男子円盤投】（7月29～8月2日）

予選1組 14位 福島将太 40m61

・県高校新人（9月16,17,23,24日）

関東高校新人出場（10月21,22日）

【男子400m】

5位 大石力（2年）49秒98

【女子円盤投】

6位 石井まい（2年）30m72

吹奏楽部&ダンス部

私たちは、夏の大会で野球部をベスト32まで支え続けた吹奏楽部とダンス部から、代表してお二人にインタビューをさせて頂きました。素敵な回答を頂きましたので、抜粋して皆さんにご紹介したいと思います。

質問内容は、「野球部応援について、お話をお聞かせください。」というものでした。

吹奏楽部（関さん）

高校ならではの野球応援だったので憧れを持っていましたが、夏場だったので体力的にキツかったです。でも、後から保護者の方々や野球部員から「ありがとう」と言われることがあり、それまで応援してきて良かったと思いました。

ダンス部（川口さん）

毎日の練習で辛いこともありましたが、私たちよりも厳しい練習を乗り越えている野球部の力になりたいと強く思うので、皆頑張っていたのだと思います。今年はベスト32まで、吹奏楽部と共に応援することが出来て幸せに思いました。

高校生活最後の夏に輝かしい景色を見せてくれた野球部を支え続けた方々も、彼らと同じくらい、素晴らしく輝いているように見えました。

（3-7 斎藤・船越）

